

令和6年8月1日
(資 料 提 供)

(事 務 担 当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 直 通：076-283-0073
--

令和6年度病害虫発生予報第5号について

今後 発生が予想される水稻、麦類、大豆、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 8月上旬～8月下旬

2 予報内容

水 稻

紋枯病の発生は**やや多**と予想される。防除を実施していない場合は、発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

斑点米カメムシ類の発生は**多**と予想される。高温乾燥時には水田への侵入が促進されるので、防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める。【病害虫発生予察注意報第3号（令和6年8月1日付）参照】

ツマグロヨコバイの発生は**やや多**と予想される。今後の発生状況に留意する。

大 豆

紫斑病の発生は**やや多**と予想される。幼莢期から子実肥大期に必ず防除を実施する。

カメムシ類の発生は**多**と予想される。幼莢期から子実肥大期に必ず防除を実施する。

アブラムシ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

フタスジヒメハムシの発生は**やや多**と予想される。汚斑粒の発生要因となるため、子実肥大期の防除を徹底する。

果 樹

ナシ黒星病の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

ナシ黒斑病の発生は**やや多**と予想される。耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

カキ炭疽病の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

果樹カメムシ類の発生は**多**と予想される。山林に近い園では特に被害が多くなる傾向があるので、園内への侵入に十分注意する。【病害虫発生予察注意報第1号（令和6年5月16日）参照】

野 菜

軟腐病の発生は**多**と予想される。作業中は作物を傷つけないよう注意するとともに、害虫防除を徹底する。またネギ類は高温時の作業を避け、灌水をしないこと。

スイカつる枯病の発生は**多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。また、ほ場の排水に努める。

ネギ黒斑病の発生は**多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

アザミウマ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

オオタバコガ、ハスモンヨトウの発生は**多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

アブラムシ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

6～8月は農薬危害防止運動期間です。